

9.2 G8下院議長サミットに対して 核兵器廃絶フォーラム ～ヒロシマは核保有国の責任を問う～

日時：9月2日(火)

18:00～20:00

会場：中区民文化センター

(アステールプラザ)

多目的スタジオ

広島市中区加古町 4-17

Tel.082-244-8000

参加費：500円

＜主催＞ 核兵器廃絶をめざすヒロシマの会



■講演 「世界の現状について」 ダグラス・ラミス

＜ダグラス・ラミス氏 プロフィール＞

サンフランシスコ生まれ。元海兵隊員。政治学者。専攻政治思想。元津田塾大学教授。

現在は沖縄を拠点とし、執筆や講演などを中心に活躍。沖縄国際大学非常勤講師

＜著書＞

『憲法と戦争』『イデオロギーとしての英会話』

『なぜアメリカはこんなに戦争をするのか』(以上晶文社)

『経済成長が無ければ私たちは豊かになれないのだろうか』

『日本は、本当に平和憲法を捨てるのですか?』

『憲法は政府に対する命令である』(以上平凡社)

『グランドゼロからの出発』(光文社、鶴見俊輔との共著)

『ラディカル・デモクラシー 可能性の政治学』(岩波書店)他、多数。

■スピーチ:

●「G8サミットを問う」 渡田正弘(グローバルゼーションを問う広島ネットワーク)

●「核大国批判」 田中利幸(広島市立大学広島平和研究所教授)

●「被爆者から」 高橋昭博(原爆資料館元館長)

●「ヒロシマからのメッセージ」 森瀧春子(当会共同代表)

＜司会＞ 久野成章(当会事務局)

7月のG8洞爺湖サミットでは何も決めることができず、現代世界が抱えるその危機の深刻さをあらためて明らかにしました。すなわち、地球温暖化などの環境破壊、原油高騰、金融危機、食糧・農業危機、戦争と貧困などの問題に関して、それらの危機を作り出しているG8諸国首脳に全く問題解決能力がないことが示されました。

一方、課題の現場を知るNGO市民諸団体が提起している問題解決策に注目が集まっています(トービン税、国際連帯税など)。9月2日広島でG8下院議長サミットが開催されます。G8関連会議の中でも、2002年から持たれているに過ぎない儀礼的なものです。

今回のテーマの一つは、「平和と軍縮に向けた議会の役割」です。唯一の原爆投下国アメリカ、それにロシア、フランス、イギリスを加えた4大核保有国(核弾頭98%のシェア)と第二次世界戦争敗北同盟国の日本・ドイツ・イタリアの下院議長等が、ポツダム宣言受諾日本降伏文書調印日である9月2日に、被爆地ヒロシマで会合を持つのです。アメリカの下院議長とは、核ボタンを押すことのできる大統領権限継承順位第2位の重要ポジションです。このような重要人物が広島を訪問するのは初めてのことです。

私たちは、ナンシー・ペロシ米下院議長に対して、広島・長崎への原爆投下についての明確な謝罪を求めます。被爆者と広島・長崎市民に謝罪することを求めます。そして、核保有国のアメリカ、ロシア、フランス、イギリスの議会議長に対して、核兵器廃絶に向けた自国の一方的核軍縮のさらなる実行、その決意を求めます。NPT第六条に規定されている核兵器国による核軍縮努力は、今日、従来以上にその重要性を増しています。2010年のNPT再検討会議が被爆地ヒロシマ・ナガサキの悲願である核兵器廃絶に向けた大きなステップになるよう私たちはあらゆる機会を活かしていかねばなりません。このような観点から、9月2日集会を開催します。ご参集ください。

核兵器廃絶をめざすヒロシマの会

(HANWA)Hiroshima Alliance for Nuclear Weapons Abolition

【共同代表】岡本三夫 河合護郎 森瀧春子

【事務局】広島市中区本川町二丁目6番11号第7ウエノヤビル 5F
広島県生活協同組合連合会内

082-532-1311(HANWA専用)

fax 082-232-8100

Eメール hanwa@e-hanwa.org

ホームページ <http://www.e-hanwa.org/>